

農家こだわり甲子園

データで語り、料理で魅せ、物語でつなぐ。

比べるのではなく、称える。農家の思想を、未来の商流へ。



なぜ「農家こだわり甲子園」を開催するのか？

「農家の想いは、畑の中だけでは伝わらない。」

現在の市場では、価格・規格・数量が優先されがちです。しかし、農家にはそれぞれの背景や信念があります。私たちは、農産物の背景にある「私たちは、農産物の背景にある「農家の想いや栽培の工夫」を、もっと社会に伝えるためにこの場を作りました。

	従来市場	農家こだわり甲子園
評価基準	価格・規格（形）・数量	思想・栽培背景・こだわり
農産物の扱い	スペック化された「商品」	ストーリーを持つ「作品」
料理の役割	単なる「試食」のための調理	農家の想いを可視化する「翻訳」
イベント後	点で終わる（その場限りの評価）	線になる（未来の商流へ接続）

農家こだわり甲子園とは

農家のこだわりを、商品カルテ・料理・試食・交流を通じて伝える体験型イベントです。単なる農産物の試食会やコンテストではありません。農家がなぜその作物を育てているのか、どんな想いで畑に立っているのかを、料理人の一皿やケータリングメニューを通じて体験していただきます。

Translation Engine



畑の熱量

土壌細菌へのこだわり、
無農薬の哲学



商品カルテ

栽培背景の
言語化と可視化



厨房での翻訳

塩とスパイスだけで
奥ゆきを出す料理人の技術



美しい一皿

食べることで
思想を味わう

イベントの4つの特徴

特徴1「農家が語る」

事前インタビューや商品カルテをもとに、農家自身の言葉で栽培背景や思想を伝えます。

特徴2「料理人が表現する」

料理人が農家の想いを受け取り、それを一皿のメニューに翻訳して提供します。

点から線へ

特徴4「商談につながる」

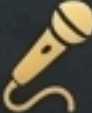
イベントで終わらせず、商談プラットフォーム等の仕組みを活用して継続的な取引へつなげます。


特徴3「多面的に称える」


順位を決めるのではなく、「推し農家投票」などで参加者の共感を可視化し、個性を多面的に称えます。





イベント当日の流れ

① 農家のこだわり紹介 (プレゼン) 

② 料理・ケータリング提供 

③ 試食・交流 (食べることで思想を味わう) 

④ 推し農家投票 (共感の可視化) 

⑤ ネットワーキング・商談 



比べる (優劣をつける)



称える (多面的な個性を評価する)
- 『箱推し』の共感

参加する皆様へ提供できる価値

農家の方へ

自分のこだわりを言語化・カルテ化でき、料理人からの提案やバイヤーとの商談・販路拡大につながります。

農家こだわり
甲子園
(熱量の着火)

料理人の方へ

農家の想いに触れながら新しい使い方を発信し、自身の料理哲学のPRや今後のコラボレーションにつながられます。

バイヤー・飲食店の方へ

農家の背景を深く理解した上で仕入れができ、産地ストーリーをそのまま売場やメニューの販促に活用できます。

物流サポート：沖縄→本土へのスピード物流（送料150円/kg、当日出荷翌日到着など）を活用し、沖縄フェアや産地直送メニューをスムーズに実現。



第1回開催実績：2026年2月22日 @くくる糸満

参加農家例：杉田農園おきなわ、かんな農園、近星未来など

審査員から「順位ではなく全農家を『箱推し』したい」との絶賛。共感が形になる場となりました。

農家こだわり甲子園miniとは

キックオフイベント等に組み込める短時間・ケータリング形式のパッケージ。ライブキッチンがなくても、農家のこだわりを深く体験可能です。

次回開催予定

第2回mini：2026年5月9日（デジはる&テックベジタス キックオフイベント内にて実施予定）

イベントで終わらせない、未来への接続

「農家のこだわりを、未来の取引へ。」

はるまーい (産地訪問)

イベントでストーリーを知った後、実際の畑へ行く産地訪問ツアーやロゲイニングにつなげ、強固な「関係人口の線」を創出します。

農家こだわり
甲子園

agrinex ハルモニ (商談プラットフォーム)

イベントで生まれた関心を、BtoB商談プラットフォームを活用して継続的な取引へ発展させます。商品カルテや物流サポートを活用し、太い「商流の線」を描きます。

ご参加・協賛のお問い合わせ

農家として参加したい、料理人として関わりたい、バイヤーとして仕入れたい、
協賛・取材したい方など、各種ご相談を受け付けております。
イベントから継続的な商流まで、共に未来の農業を創るパートナーをお待ちしています。

農家こだわり甲子園について問い合わせる

主催・運営：Digital Halusa協同組合 / テックベジタス株式会社

農業DX・農産物流通・地域共創プロジェクトを通じ、農家の所得向上と「顔が見える農業」の未来を実現します。